モバイルステーション取扱説明書

日本語版

märklin
systems

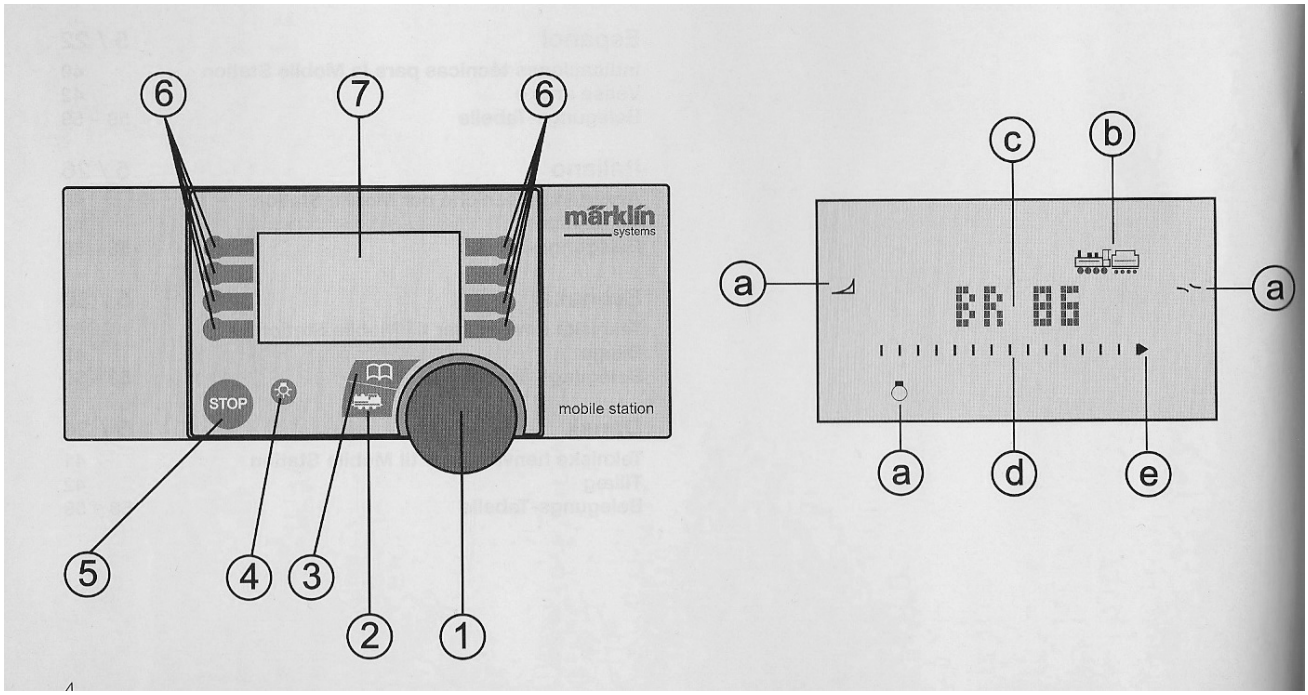
60652

目次

日本語版　取扱説明書	2
モバイルステーションの技術資料	12
付録	13
メニュー一覧	27

コントローラー上面図

①スピード調整つまみ
②機関車/OKボタン
③メニュー/エスケープ(ESC)ボタン
④ヘッドライトオン/オフボタン
⑤ストップボタン
⑥各種ファンクションボタン
⑦グラフィックディスプレイ
a)各種ファンクションシンボル(最大 9 個まで)
b)機関車種別のシンボル
c)機関車名称
d)スピードインジケーター
e)進行方向表示マーク



モバイルステーションでできること

60652 モバイルステーション単体製品、および1番ゲージスターターセット同梱品の場合:

- ●メルクリン HO およびメルクリン1番ゲージの制御
- ●最大電流 1.9 アンペア(60052 トランス使用時)
- ●専用のコネクタボックスを用いて接続するだけで利用できます
- ●このタイプのモバイルステーション底面に刻印されている製品番号は 60651 です

メルクリン HO スターターセット同梱品の場合:

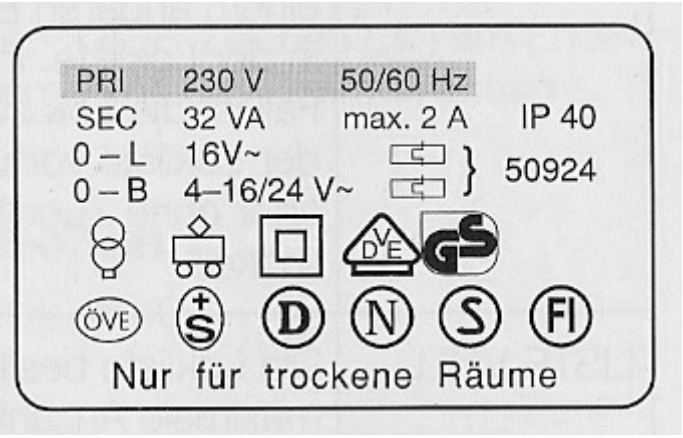
- ●メルクリン HO の制御
- ●最大電流 1.2 アンペア(60052 トランス使用時)
- ●専用のコネクタボックスを用いて接続するだけで利用できます
- ●このタイプのモバイルステーション底面に刻印されている製品番号は 60652 です

この出力電流は2～3台の機関車を運転するには十分です。走行できる機関車の数は、レイアウト上にある室内灯や発煙装置、サウンド機能を搭載した車両の数によって、より少なくなる可能性があります。セントラルステーションは、複数の人で遊ぶレイアウトに適した運転システムです。本書のモバイルステーションは、単に機関車の運転コントローラーとして取り扱います。

モバイルステーションの接続

1. レイアウトにコンセントからの電源コードが差し込まれていないことを確認してください。
2. ご自宅のトランスまたはパワーパック(入力電圧の値、周波数の値)が、右の図に合っているか確認してください。
3. モバイルステーションを接続します。1台目のモバイルステーションはコネクターボックスの左の10ピン端子に接続してください。
4. トランスまたはパワーパックをコネクターボックスに接続します。

(⇒図 A を参照してください)



起動方法

モバイルステーション背面のトランス/パワーパックへの電源コードを、コンセントに差し込んでください。

1. すぐにシステムが起動します（ディスプレイに「MARKLIN」の文字が表示されます）。
2. モバイルステーションはそのまま操作できる状態になります。
（⇒図 B を参照してください）

モバイルステーションでは、運転する機関車は機関車リストから選択します。工場出荷状態のモバイルステーションでは、機関車リストに機関車が登録されていないので、画面はそのまま機関車リストに機関車を登録するための画面になります（「NEW LOC」と表示される）。スターターセット同梱のモバイルステーションでは、工場出荷状態ですでに機関車リストに機関車が登録されています。

機関車リストに機関車を登録する

方法A：mfx デコーダー搭載の機関車を自動的に登録する方法。
方法B：データベースから機関車を登録する方法。
方法C：機関車のアドレスを指定して登録する方法。

方法A：
レイアウトに電源を入れる前に、mfx デコーダーを搭載した機関車を線路に置きます。システムが起動するまでの間に、mfx デコーダー搭載機関車は自身のデータをモバイルステーションに送信します。モバイルステーションが操作できるようなればすぐに、機関車は機関車リストから選択できるようになります。
（⇒図 C を参照してください）

重要事項：
機関車リストに 10 台以上の機関車が登録されている場合、それ以上機関車をリストに追加することは出来ません。その場合にはリストから1台の機関車を削除してから（8 ページを参照）、再度 mfx デコーダー搭載機関車の登録を行ってください。

方法B：
1. メニュー/エスケープボタンを押してください。
2. 画面に「NEW LOC」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
3. スピード調整つまみ押します。
4. 画面に「DATABASE」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
5. スピード調整つまみ押します。

6. 画面にその機関車の製品番号が表示されるまで、スピード調整つまみを回します。
7. 機関車/OK ボタンを押します。画面が操作状態に戻ります。
（⇒図 D を参照してください）

方法C:
1. メニュー/エスケープボタンを押してください。
2. 画面に「NEW LOC」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
3. スピード調整つまみ押します。
4. 画面に「ADDRESS」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
5. スピード調整つまみ押します。
6. 画面にその機関車のアドレスが表示されるまで、スピード調整つまみを回します。
7. スピード調整つまみ押します。
8. 画面に好みの機関車のシンボルが表示されるまで、スピード調整つまみを回します。
9. 機関車/OK ボタンを押します。画面が操作状態に戻ります。
（⇒図 E を参照してください）

豆知識:機関車リストで表示されるアドレスや名前は変更することができます（6 ページ、7 ページを参照）。つまりデータベースから登録した内容を編集して、他の機関車として登録することもできるということです。

機関車の操作

スピード調整つまみを右に回すと
－機関車の速度が上がります。
スピード調整つまみを左に回すと
－機関車の速度が下がります。
　　スピードインジケーターのバー表示がセットされたスピードレベルに変わります。

スピード調整つまみを押すと－機関車の進行方向が切り替わります。
　　同時に進行方向表示マークとスピードインジケーターの表示が切り替わります。

各種ファンクションボタンを押すと
－ボタンによって決められた機能がオンになります。

ご注意:
●データベースから登録した機関車の各種ファンクション（機関車にファンクションが搭載されている場合）は、画面にシンボルとして表示されます。これらシンボルとして表示されているファンクションのみが使用できます。
●ほとんどの場合、ヘッドライトは各種ファンクションボタンとは別のヘッドライトボタンで点灯します。

●アドレス登録によって機関車リストに登録した機関車は、画面に何もシンボルが表示されません。この場合は、ヘッドライトボタンが各種ファンクションの「ファンクションボタン」として、画面左側の４個の各種ファンクションボタンが（上から下に順番に）ファンクション f1、f2、f3、f4 として機能します。

機関車の変更

1. 機関車/OK ボタンを押します。
2. 変更したい機関車が表示されるまで、スピード調整つまみを回します。
3. 機関車/OK ボタンを押します。
（⇒図 F を参照してください）

これで変更した新しい機関車を操作することが出来ます。変更する前まで操作していた機関車は、最後に指示していた操作指示の通りに走り続けますので注意してください！

緊急停止

STOP ボタンを押します。:レイアウトへの電源は切れません。
全ての機関車と列車は一時停止します。画面には「STOP」と表示されます。
もう一度 STOP ボタンを押すと、再びレイアウトに通電されます。

重要事項:
ショートした時、システムに負荷がかかった時には、自動的に STOP 状態になります。この場合、問題を取り除いてから、STOP ボタンを押して運転を再開してください。もし再びシステムが落ちるようなら、まだ問題は解決していません！

機関車データの変更

この操作の前提条件:
機関車がすでに機関車リストに登録されていること。
モバイルステーションで機関車のアドレス登録するには:モバイルステーションで制御および電源供給されている範囲内に、当該の機関車だけが存在していること

mfx デコーダー搭載機関車のアドレスを変更することはできません。そのような設定を行うことは本製品ではできません。

アドレスの変更

1. 機関車を停止させます。
2. メニュー/エスケープボタンを押します。
3. 画面に「EDIT LOC」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
4. スピード調整つまみを押します。
5. 画面に「ADDRESS」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
6. スピード調整つまみを押します。
7. 画面に新しく設定したいアドレスが表示されるまで、スピード調整つまみを回します。
8. スピード調整つまみを押します。

アドレス設定用のディップスイッチがある機関車は、デコーダー上のスイッチを新しいアドレスに設定しておかなければなりません。
（⇒図 G を参照してください）

以下の操作は、モバイルステーションでアドレス設定が出来る機関車の場合のみ、行ってください。

9. 画面に「PORG LOC？」という問い合わせが表示されます。

メニュー/エスケープボタンを押した場合：アドレスは機関車登録情報だけが変更されます。
スピード調整つまみを押した場合：デコーダーにデータを送信することによって、機関車のアドレスは書き換わります。
（⇒図 H を参照してください）

重要事項：
9. の操作は、機関車がこの機能に対応していて、かつ、その機関車がモバイルステーションから電源供給を受けていて、電気的な接触が完璧で、線路上のモバイルステーションの電源供給範囲内に他の機関車が一切存在しない場合にのみ機能します。

表示名称の変更

この操作の前提条件：
変更対象の機関車が画面に表示されていること。

1. メニュー/エスケープボタンを押します。
2. 画面に「EDIT LOC」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
3. スピード調整つまみを押します。
4. 画面に「NAME」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
5. スピード調整つまみを押します。

6. スピード調整つまみを回して、最初の1文字目を変更します。
7. スピード調整つまみを押します。続いて2文字目をスピード調整つまみを回すことによって変更します。
8. 以下の手順を繰り返します。:
スピード調整つまみを押す:1文字進める
メニュー/エスケープボタンを押す:1文字戻る
機関車/OK ボタンを押す:変更を確定する
(⇒図 I を参照してください)

推奨される名称の最大文字数:10 文字

豆知識:
文字は他の文字で上書きすることによって消すことができます。末尾の空白文字(■)は変更を確定した時に自動的に削除されます。

機関車リストからの機関車の削除

この操作の前提条件:
スピードが0であること(機関車が停止していること)。

1. 機関車/OK ボタンを押します。
2. 画面に削除したい機関車が表示されるまで、スピード調整つまみを回します。
3. 機関車/OK ボタンを押します。
4. メニュー/エスケープボタンを押します。
5. 画面に「DELETE LOC」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
6. スピード調整つまみを押します。「DELETE LOC？」という確認メッセージが画面に表示されます。
7. 機関車/OK ボタンを押して操作を終了します。
(⇒図 J を参照してください)

オプション設定

表示言語をお使いの地域に合わせて変更できます。また、モバイルステーションの全設定を初期化できます。サブメニューの「INFO」はメルクリンの修理サービス部門用の項目で、一般の利用者の方は使用できません。

表示言語の設定

設定できる言語:ドイツ語、英語、フランス語、オランダ語
1. メニュー/エスケープボタンを押します。
2. 画面に「SETUP」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
3. スピード調整つまみを押します。
4. 画面に「LANGUAGE」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
5. スピード調整つまみを押します。
6. 画面に変更したい言語が表示されるまで、スピード調整つまみを回します。
7. 機関車/OK ボタンを押します。
(⇒図 K を参照してください)

プリセット

重要事項:
プリセットを実行すると機関車リストの全てのデータ(変更したアドレスや名称を含む)は全て失われます。スターターセット同梱品のモバイルステーションの場合、プリセットを実行すると、機関車リストはそのスターターセットの工場出荷時の状態に上書きされます。

1. メニュー/エスケープボタンを押します。
2. 画面に「SETUP」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
3. スピード調整つまみを押します。
4. 画面に「PRESET」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
5. スピード調整つまみを押します。
6. 画面に「PRESET? 」という確認メッセージが表示されます。
機関車/OK ボタンを押すと:プリセットが実行されます。
メニュー/エスケープボタンを何度か押すと:プリセットを実行することなくメイン操作画面に戻ることができます。

重要事項:
モバイルステーションの電源投入時に、STOP ボタンとスピード調整つまみを、同時に1秒以上押し続けると、安全確認の質問なしで自動的にプリセットが実行されます。

その他の機関車パラメータの設定

この設定は mfx デコーダー搭載機関車か、データ通信によって設定を行うことができるデコーダーを搭載した機関車でのみ行うことができます。機関車によっては以下の設定可能パラメータのうち、いくつかしか設定できないものもあります。

設定可能項目:
VMAX－最高速度
ACC－加速度
DEC－ブレーキ遅延のかかり具合
VOL－音量調整
PRESET－デコーダーのデータを工場出荷時の状態に戻す

重要事項:
機関車デコーダーの「PRESET」（サブメニューEDIT LOC にある）と、モバイルステーションの「PRESET」（サブメニューOPTIONS にある）を間違わないようにしてください。

1. メニュー/エスケープボタンを押します。
2. 画面に「EDIT」という表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
3. スピード調整つまみを押します。
4. 画面に「VMAX」「ACC」「DEC」「VOL」「PRESET」（設定したい項目）の表示が出るまで、スピード調整つまみを回します。
5. スピード調整つまみを押します。
6. 画面にメニューマークが表示され、その下に設定バーが表示されます。他のボタンには触らずに、スピード調整つまみだけを動かして設定バーを変更します。
バーを短くする:最高速度を下げる、ブレーキ遅延を短くする、など。
バーを長くする:バーを短くする時の反対の意味の値を設定する。
7. スピード調整つまみを押すと新しい設定が書き込まれます。書き込み動作が終わるまでの間（画面に「PORG」と表示されている間）は決して電源を切ってはなりません。
（⇒図 M を参照してください）

サブメニューで「PRESET」を選択した時は、ステップ6. は以下のような操作に変わります。
6. 画面に「PRESET？」という確認メッセージが表示されます。
スピード調整つまみを押すと:プリセットが実行されます。書き込み動作が終わるまでの間（画面に「PORG」と表示されている間）は決して電源を切ってはなりません。

2台目のモバイルステーションを使用する

アダプターケーブル（製品番号 610479）を使用すれば、システムに2台目のモバイルステーションを追加することができます。
2台目のモバイルステーションの接続端子は、接続ボックスの中央の端子です。

重要事項:

メインコントローラー（左側の端子に接続されているモバイルステーション）の技術的な名称を：マスター
2台目のコントローラーの技術的な名称を：スレーブ、と呼びます。
（⇒図 N を参照してください）

システムの電源を入れた後：
●2台目のコントローラーはメインコントローラーからデータ（機関車リスト）を受信します。この状態の時は、2台目のコントローラーの機関車リストにはアクセスできません。
●2台目のコントローラーの画面にはマークが表示されます。
●一方のコントローラーで使用中の機関車は、もう一方のコントローラーでは呼び出すことはできません。
●マスターコントローラーでは特にしなければならないことはありません。
●出力電流の大きい方のモバイルステーション（1.2 アンペアのものよりは 1.9 アンペアのもの）を、常にマスターコントローラーとして使用してください。
●24088 フィーダー線路や 60115 接続ボックスを複数使用することは絶対にしないでください。

警告：
モバイルステーションが接続されている線路に、他の外部電源や機器を接続しないでください。例えば、（アナログ交流トランスやメルクリンデジタルのような）他の操作システムと接続することは禁止されています。
（⇒図 O を参照してください）
警告：
モバイルステーション用のトランスに、他の電源を必要とするアクセサリを一緒に接続しないでください。それらの製品には別のトランスを用意してください。

エラー表示

表示	説明	対処方法
ADDR.USED	機関車のアドレスが機関車リストに登録されている他の機関車のアドレスと重複しています。この場合、機関車は機関車リストには表示されますが操作することはできません。	－アドレスを変更してください。 －機関車リストから機関車を削除してください。
LIST FULL	機関車リストの登録数が上限に達しています。	－機関車リストから機関車を削除してください。
LOC USED	機関車がまだ 0 以上の速度で運転されているので、要求された機能（例：機関車リストからの削除）を実行することができません。	－操作画面に戻って機関車を停止させてください。

モバイルステーションの技術情報

モバイルステーションを水に濡らさないでください
メルクリンの製品は防水加工ではありません。湿度が高い状態におかれたり、本体内部に水分が入ったりすると、故障の原因となります。内部の可動部品や電気回路が腐食すると、修理不能な故障を引き起こします。

モバイルステーションに振動を与えないでください
乱暴に取り扱ったり、強い振動を与えたりすると、故障の原因となります。

モバイルステーションを極端に低温や高温になるような場所に置かないでください
急激な温度変化は機器内部を結露させます。結露を避けモバイルステーションを保護するためには、湿度が低く、適当な温度の環境に移動し、その環境を維持するようにしてください。

可動部品は注意して取り扱ってください
モバイルステーションのボタンやスピード調整つまみに無理な力を加えて操作しないでください。

保管

モバイルステーションを以下のような状態の好ましくない環境に放置しないでください:

●湿度が高い場所や風通しの悪い場所。
●摂氏 50℃/華氏 122 度を超えるような高温の場所(暖房器具の近くや太陽光が直接当たる場所でもそのような温度になります)や、摂氏－10℃/華氏 14 度以下になるような場所。
●湿度が 60%を超えるような場所。

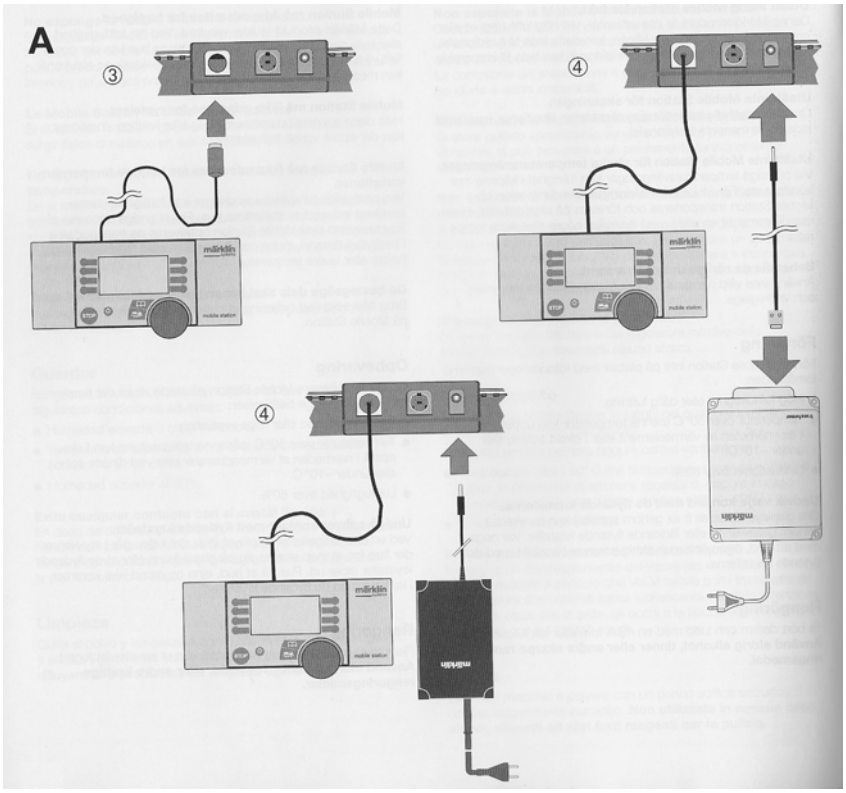
液晶に衝撃を加えないでください。
画面が損傷する(例:割れたり)すると、中から飛び出したガラス銀(glass silvers？)7 液晶で怪我をすることがあります。皮膚、目、口などから液晶が入らないように特に気をつけてください。

クリーニング

糸くずやゴミを除去する際には、柔らかく乾いた布、または少しだけ湿らせた布を使ってください。
アルコール、シンナー、その他の強い洗剤は絶対に使用しないでください。

付録

図 A


A
③
④
④

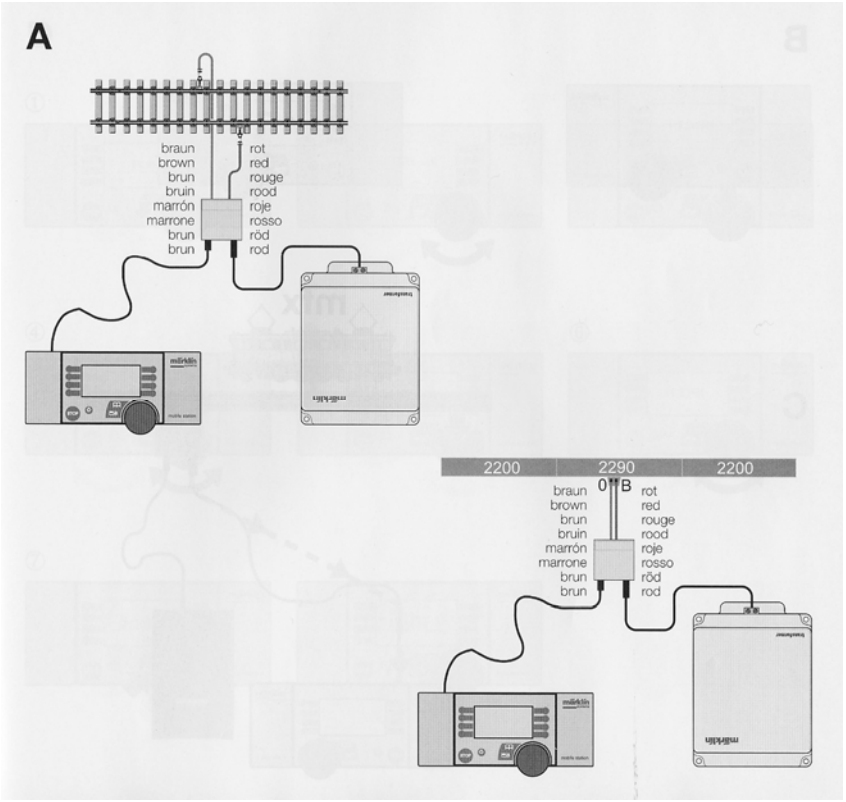

A
braun
brown
brun
bruin
marrón
marrone
brun
brun
rot
red
rouge
rood
roje
rosso
röd
rod
2200
2290
2200
0
B
braun
brown
brun
bruin
marrón
marrone
brun
brun
rot
red
rouge
rood
roje
rosso
röd
rod

図 B

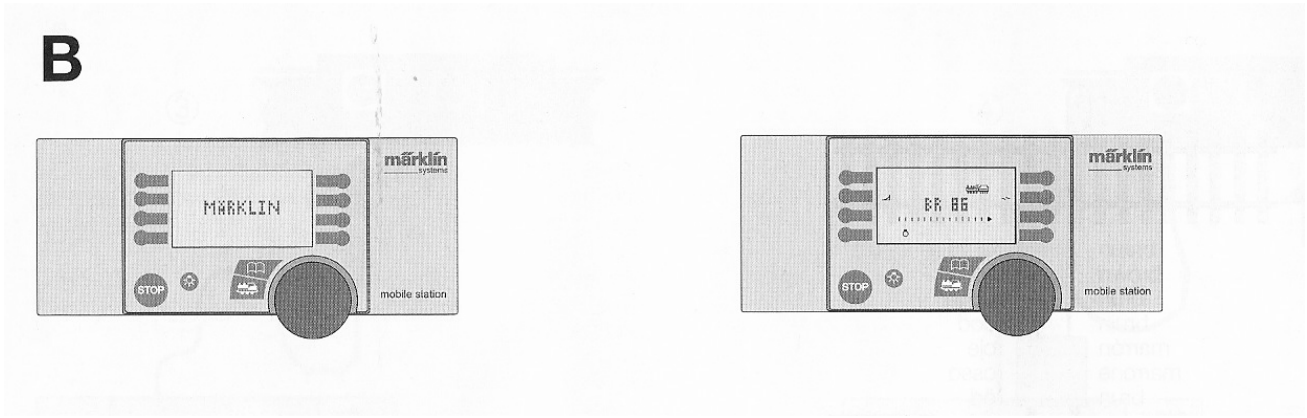

B
MÄRKLIN
STOP
mobile station
BR 86
STOP
mobile station

図 C

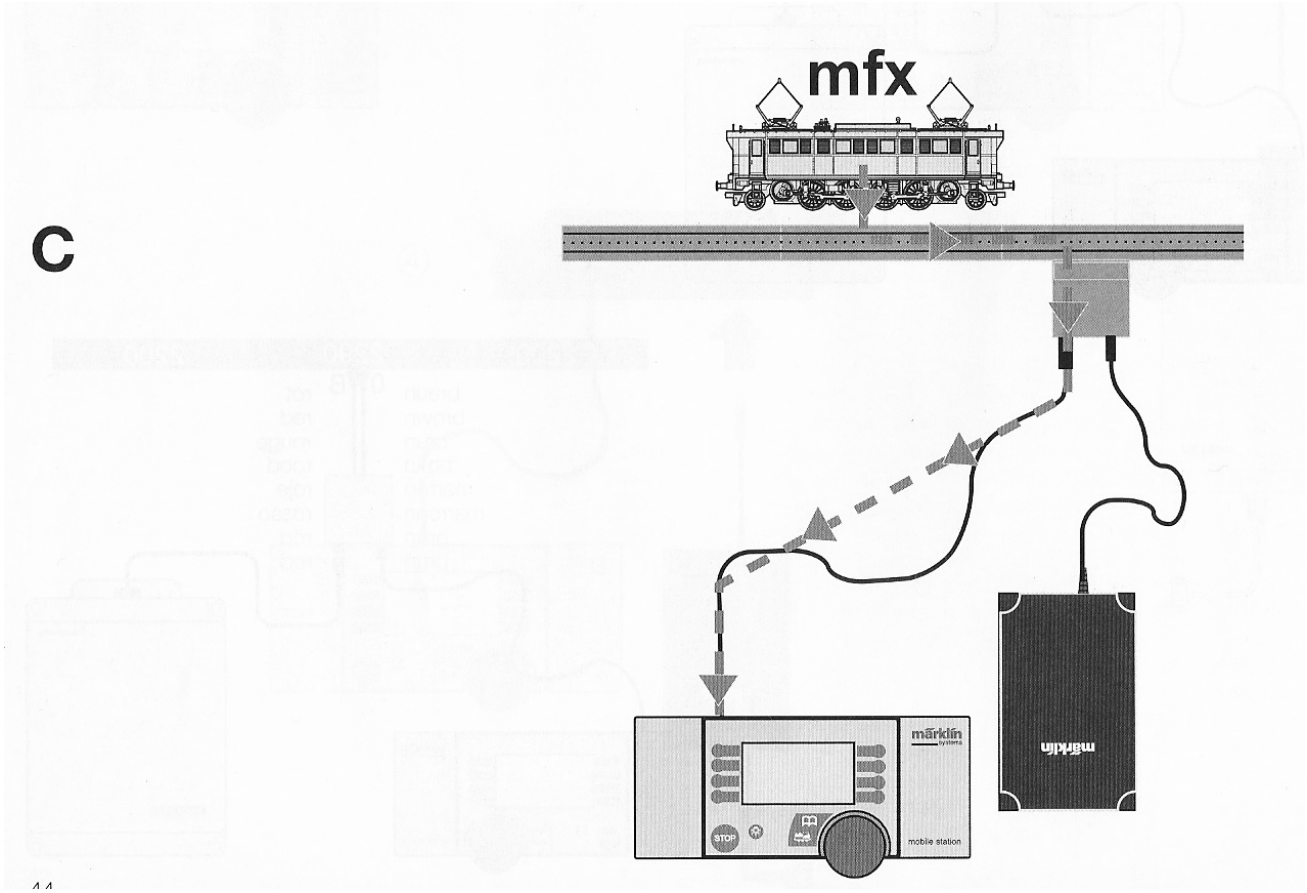

C
mfx
STOP
mobile station

図 D

D
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
märklin
systems
mobile station
STOP
BR 86
NEUE LOK
DATENBANK
M 37401
SPEICHERN
140.288-2

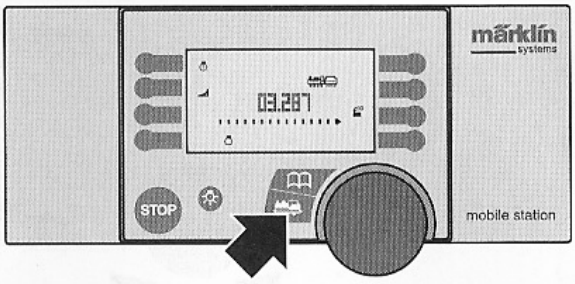
図 E

E
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
märklin
systems
mobile station
STOP
BR 86
NEUE LOK
ADRESSE
A 24

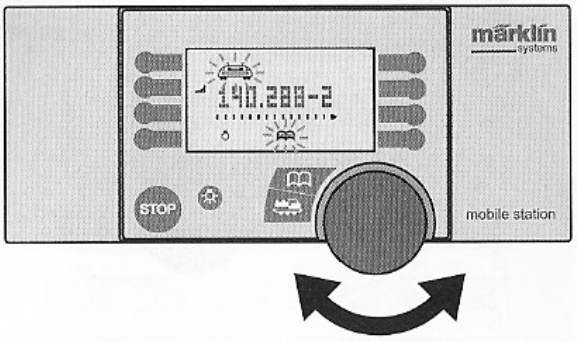
図 F

F

①


märklin
systems
03.287
STOP
mobile station

②


märklin
systems
140.288-2
STOP
mobile station

③

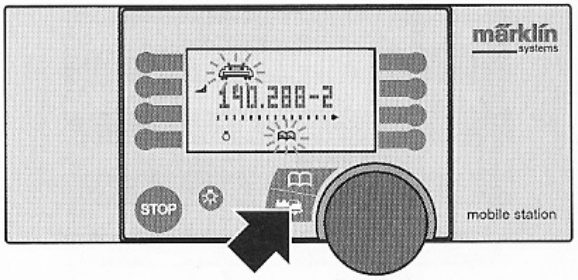
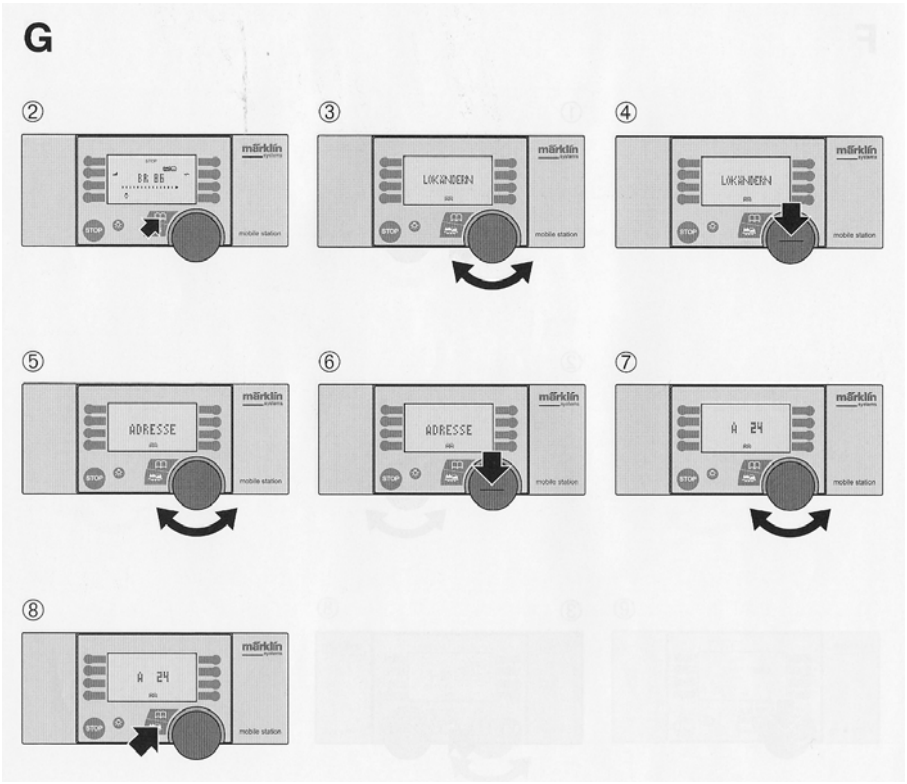

märklin
systems
140.288-2
STOP
mobile station

図 G


G
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
märklin
mobile station
STOP
LOKAUSWAHL
ADRESSE
A 24

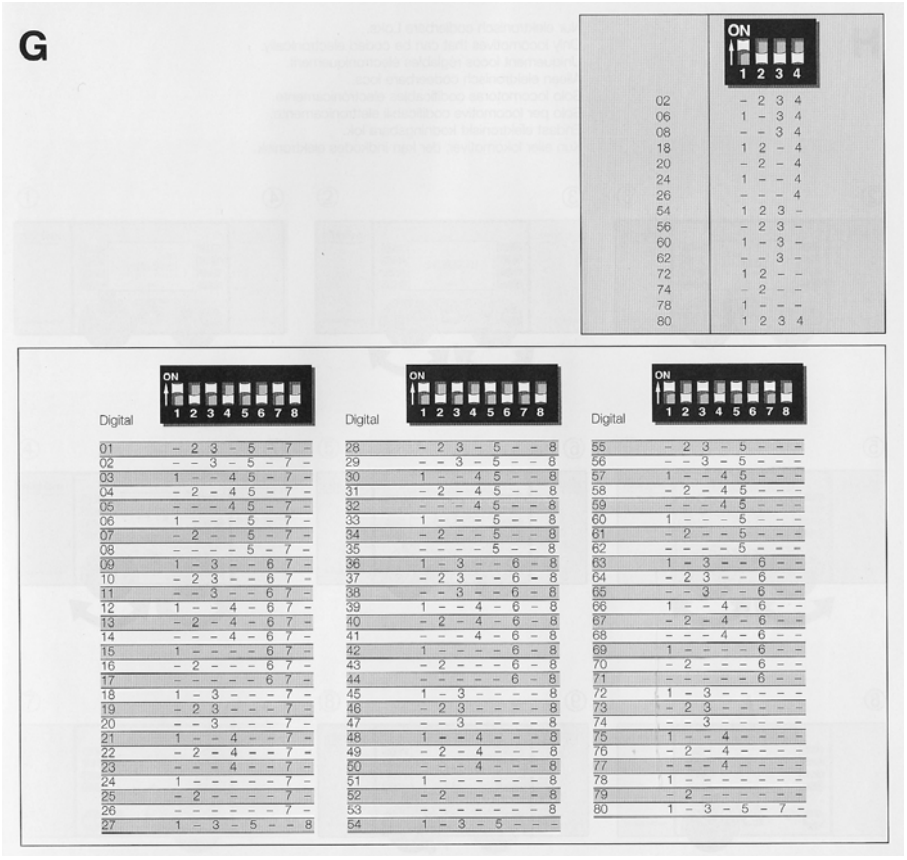

G
ON
1 2 3 4
02 – 2 3 4
06 1 – 3 4
08 – – 3 4
18 1 2 – 4
20 – 2 – 4
24 1 – – 4
26 – – – 4
54 1 2 3 –
56 – 2 3 –
60 1 – 3 –
62 – – 3 –
72 1 2 – –
74 – 2 – –
78 1 – – –
80 1 2 3 4
Digital
1 2 3 4 5 6 7 8
01 – 2 3 – 5 – 7 –
02 – – 3 – 5 – 7 –
03 1 – – 4 5 – 7 –
04 – 2 – 4 5 – 7 –
05 – – – 4 5 – 7 –
06 1 – – – 5 – 7 –
07 – 2 – – 5 – 7 –
08 – – – – 5 – 7 –
09 1 – 3 – – 6 7 –
10 – 2 3 – – 6 7 –
11 – – 3 – – 6 7 –
12 1 – – 4 – 6 7 –
13 – 2 – 4 – 6 7 –
14 – – – 4 – 6 7 –
15 1 – – – – 6 7 –
16 – 2 – – – 6 7 –
17 – – – – – 6 7 –
18 1 – 3 – – – 7 –
19 – 2 3 – – – 7 –
20 – – 3 – – – 7 –
21 1 – – 4 – – 7 –
22 – 2 – 4 – – 7 –
23 – – – 4 – – 7 –
24 1 – – – – – 7 –
25 – 2 – – – – 7 –
26 – – – – – – 7 –
27 1 – 3 – 5 – – 8
28 – 2 3 – 5 – – 8
29 – – 3 – 5 – – 8
30 1 – – 4 5 – – 8
31 – 2 – 4 5 – – 8
32 – – – 4 5 – – 8
33 1 – – – 5 – – 8
34 – 2 – – 5 – – 8
35 – – – – 5 – – 8
36 1 – 3 – – 6 – 8
37 – 2 3 – – 6 – 8
38 – – 3 – – 6 – 8
39 1 – – 4 – 6 – 8
40 – 2 – 4 – 6 – 8
41 – – – 4 – 6 – 8
42 1 – – – – 6 – 8
43 – 2 – – – 6 – 8
44 – – – – – 6 – 8
45 1 – 3 – – – – 8
46 – 2 3 – – – – 8
47 – – 3 – – – – 8
48 1 – – 4 – – – 8
49 – 2 – 4 – – – 8
50 – – – 4 – – – 8
51 1 – – – – – – 8
52 – 2 – – – – – 8
53 – – – – – – – 8
54 1 – 3 – 5 – – –
55 – 2 3 – 5 – – –
56 – – 3 – 5 – – –
57 1 – – 4 5 – – –
58 – 2 – 4 5 – – –
59 – – – 4 5 – – –
60 1 – – – 5 – – –
61 – 2 – – 5 – – –
62 – – – – 5 – – –
63 1 – 3 – – 6 – –
64 – 2 3 – – 6 – –
65 – – 3 – – 6 – –
66 1 – – 4 – 6 – –
67 – 2 – 4 – 6 – –
68 – – – 4 – 6 – –
69 1 – – – – 6 – –
70 – 2 – – – 6 – –
71 – – – – – 6 – –
72 1 – 3 – – – – –
73 – 2 3 – – – – –
74 – – 3 – – – – –
75 1 – – 4 – – – –
76 – 2 – 4 – – – –
77 – – – 4 – – – –
78 1 – – – – – – –
79 – 2 – – – – – –
80 1 – 3 – 5 – 7 –

図 H

この方法は電気的なデータ通信によってデコーダーの書き換えができる機関車のみ行うことができます。

図 I

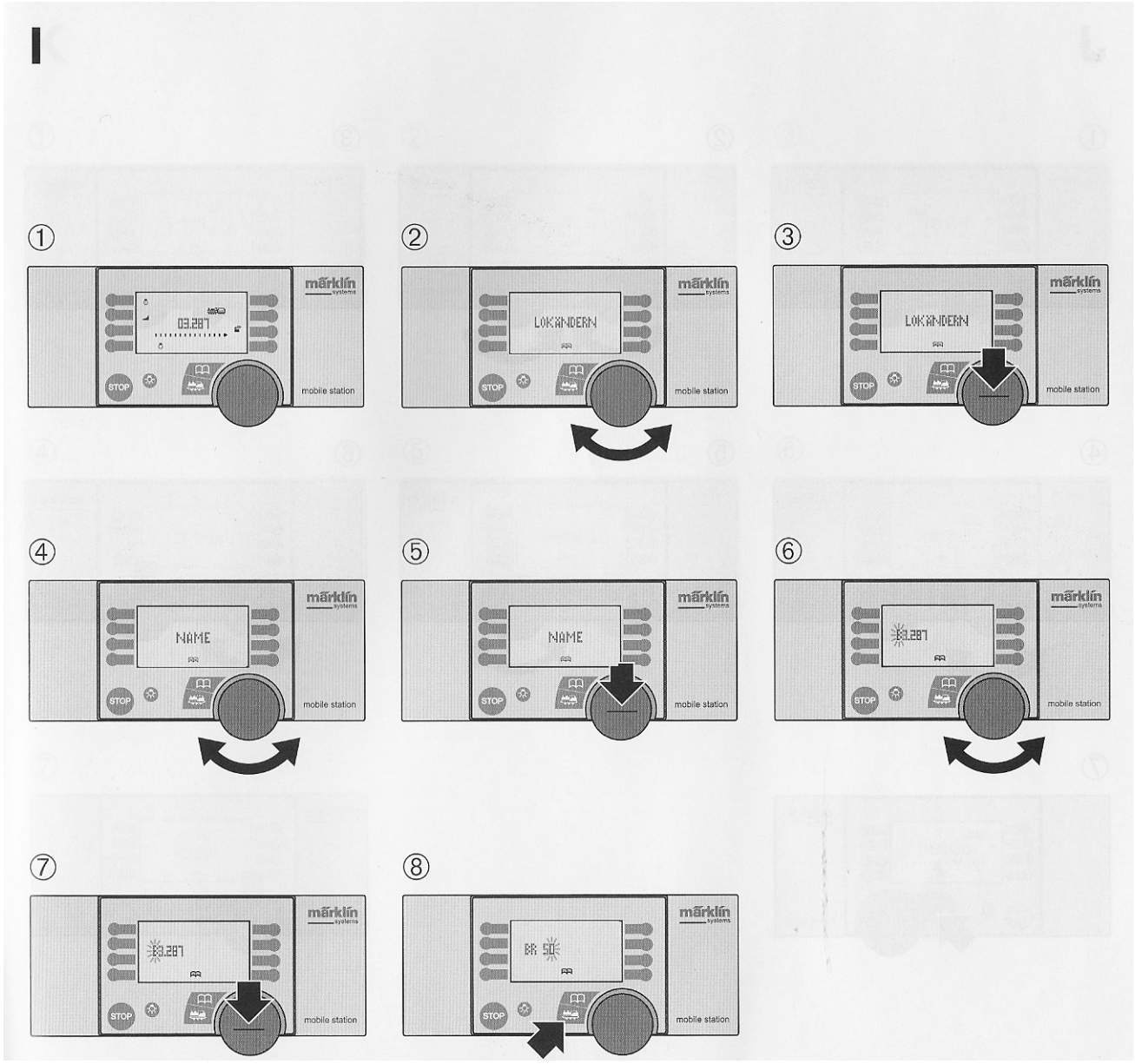

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
märklin
systems
mobile station
STOP
LOKWANDERN
NAME
BR 50

図 J

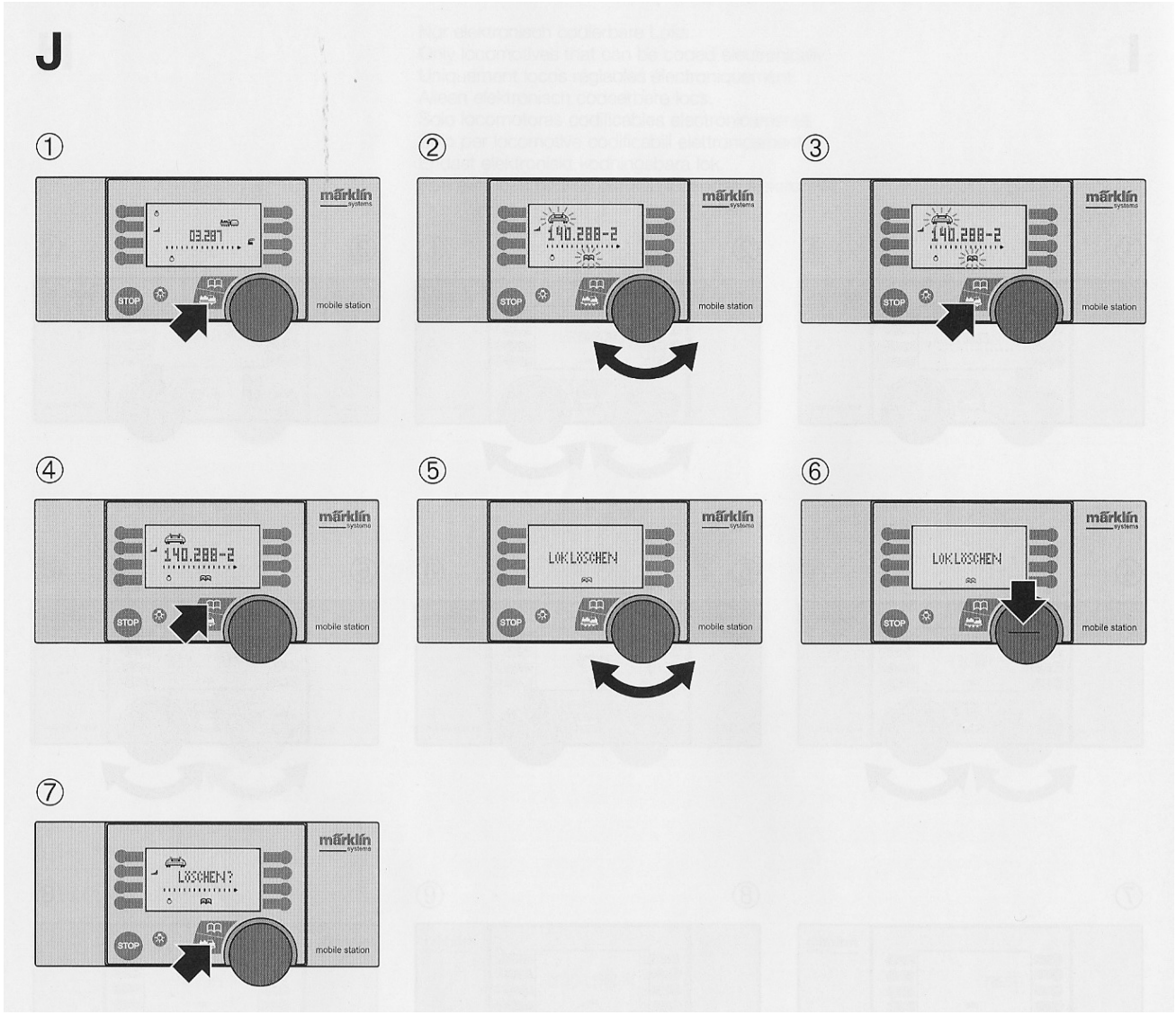

J
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
märklin
systems
mobile station
STOP
03.287
140.288-2
LOK LÖSCHEN
LÖSCHEN?

図 K

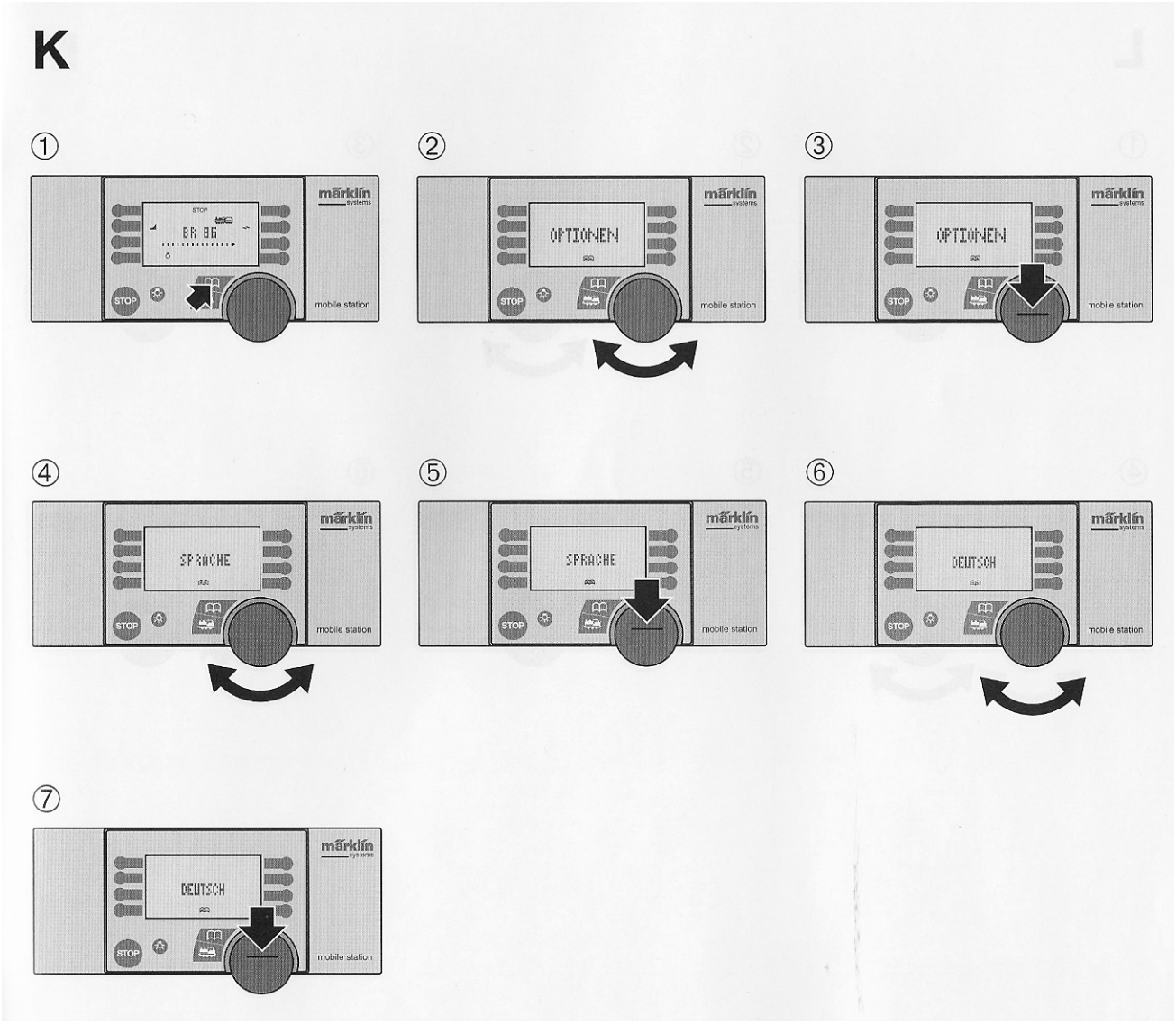
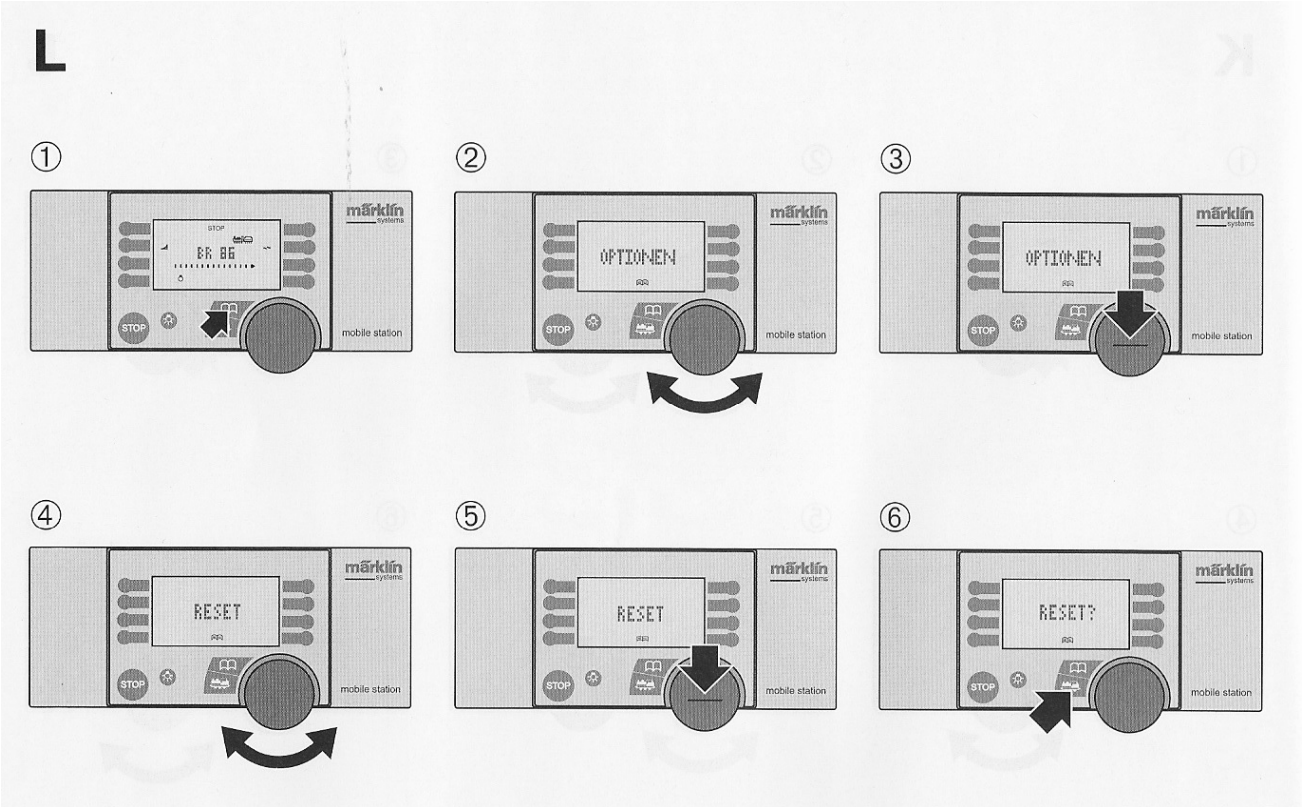

K
①
STOP
BR 86
STOP
märklin
mobile station
②
OPTIONEN
STOP
märklin
mobile station
③
OPTIONEN
STOP
märklin
mobile station
④
SPRACHE
STOP
märklin
mobile station
⑤
SPRACHE
STOP
märklin
mobile station
⑥
DEUTSCH
STOP
märklin
mobile station
⑦
DEUTSCH
STOP
märklin
mobile station

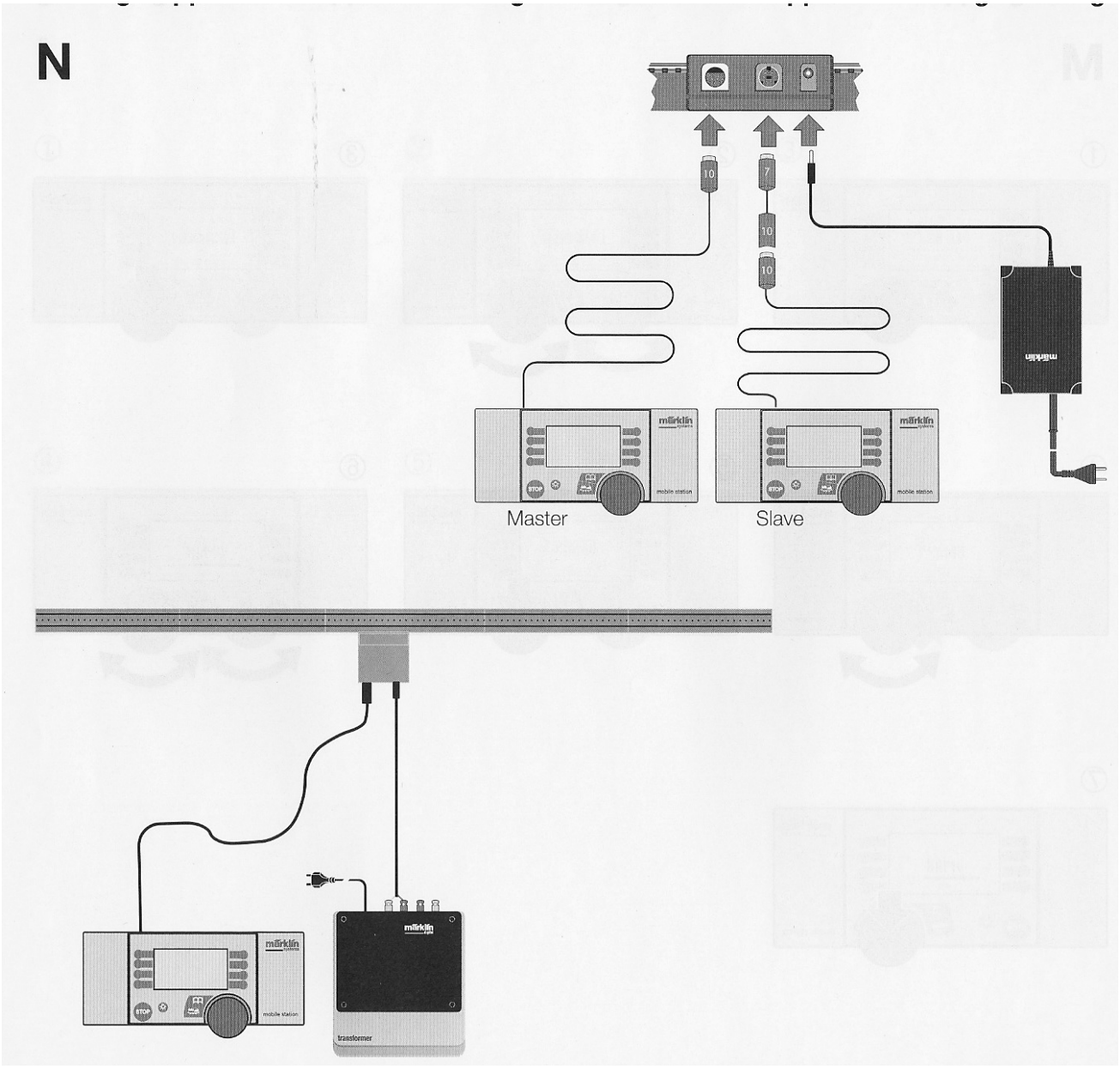
図 L


L
①
②
③
④
⑤
⑥
BR 86
OPTIONEN
OPTIONEN
RESET
RESET
RESET?
STOP
märklin
mobile station

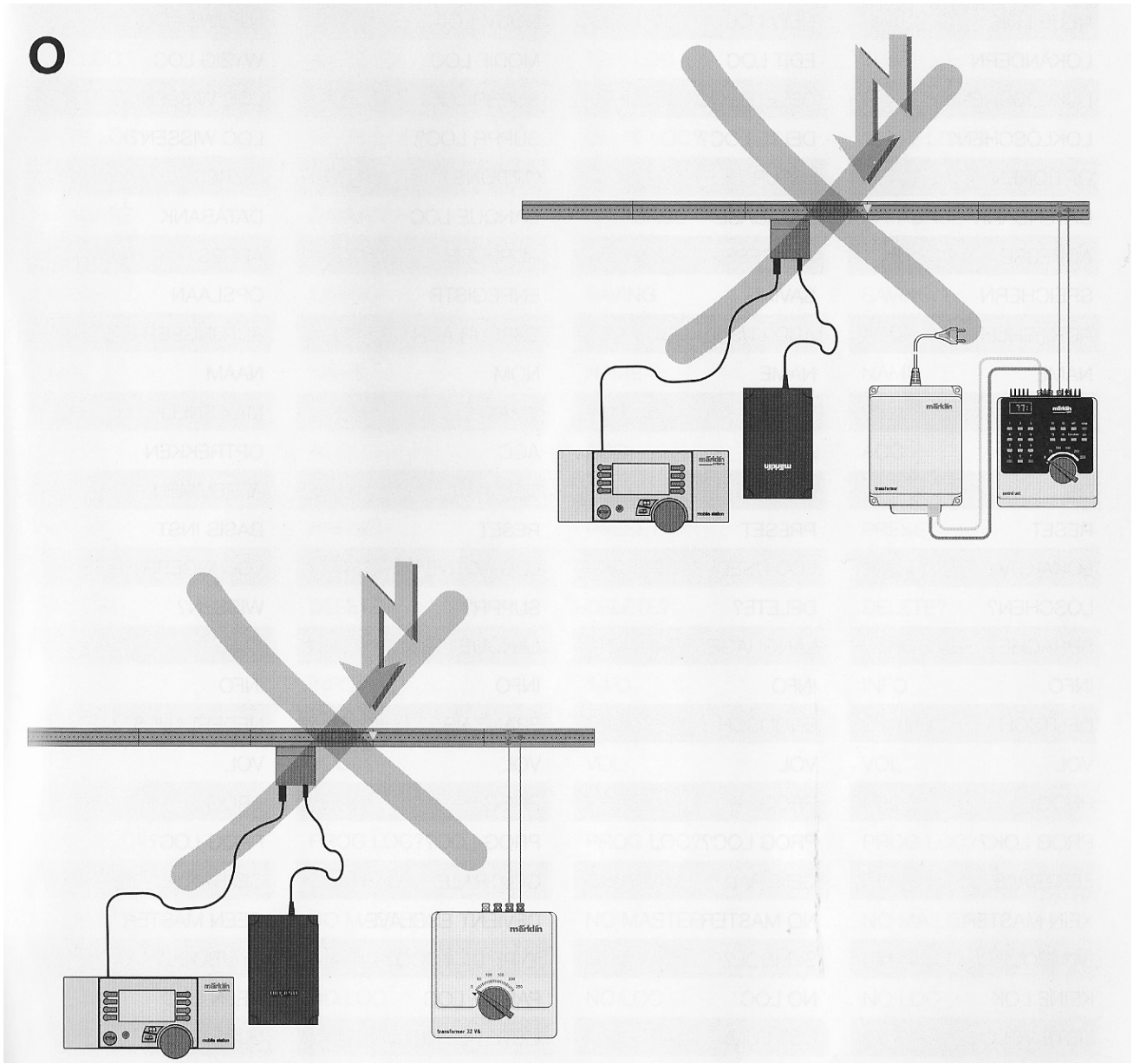
図M

M
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
märklin
systems
mobile station
STOP
BR 86
LOKÄNDERN
VMAX

図N



図O


O
märklin
mobile station
transformer
control unit
transformer 32 VA

メニュー一覧

英語メニューの一覧

Englisch
NEW LOC
EDIT LOC
DELETE LOC
DELTE LOC?
SETUP
DATABASE
ADDRESS
SAVING
ADDR.USED
NAME
VMAX
ACC
DEC
PRESET
LOC USED
DELETE?
LANGUAGE
INFO
ENGLISCH
VOL
PROG
PROG LOC?
CENTRAL
NO MASTER
SYMBOL?
NO LOC
LIST FULL

メルクリン社 許可済み
日本語テキスト 文責 HRS
2010.11.24